

健康塾で「目」について学びました

令和3年7月3日（土）厚生連病院において、健康塾を開催しました。この健康塾は、健康教育を通して地域の皆様に貢献することを目的に、定期的で開催しているものです。今年度はコロナ禍により、感染対策を徹底したうえで、1回目の開催となりました。

今回のテーマは「知っておきたい目の病気～予防から治療まで～」と題し、当院の眼科医長の柿内奈保子医師が、「眼の構造」や「眼の病気」・「病気の治療法や予防法」などについて、グラフや写真を用いて説明しました。

研修後の質疑応答では、“視野狭窄の人の見え方はどのような感じか”や“自身や家族の眼に関すること”など、参加者から多くの質問があり、充実した内容の研修となりました。

研修後のアンケートでは「白内障の手術を進められており参考になった」や「白内障やドライアイも脱老化で予防できると聞いて良かった」など、様々な意見が聞かれました。

今後も、健康塾を様々なテーマで定期的で開催してまいります。

次回のご案内は厚生連ホームページなどで行います。（令和3年10月予定）



講演する柿内医長



研修の様子